

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 鳥取中央育英高等学校

重点項目	スポーツ・文化芸術活動	提出日	令和4年4月21日
------	-------------	-----	-----------

1 学校目標	
<p>克己を通じた人格の完成</p> <p>(1) 志を持ち、それを叶える確かな学力が身につく</p> <p>(2) 自らを律し、何事も率先して自ら行う力が身につく</p> <p>(3) 自他を思いやり、他と協力する力が身につく</p> <p>(4) 地域を支える社会人として必要な資質が身につく</p>	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
<p>本校は県内でも数少ない体育コース設置校であり、その体育コースの生徒を中心として部活動での全国レベルの活躍や学校の活性化を図ってきた。</p> <p>これまで体育コースの取組として、人間力の向上を中心とした事業を行ってきたが、競技力の一層の向上を目指した事業を取り入れることにより、競技者としての意識と技術の向上を図るとともに、指導する教職員（運動部指導者）においても指導力の向上を目指す取組を行い、体育コースや部活動の更なる充実を図り、各部活動の中心選手として全国大会で活躍する生徒を増やす。</p> <p>&lt;数値目標&gt;</p> <p>陸上…全国大会入賞7名以上、全国総体出場15名以上、全国高校駅伝、国体等全国大会出場</p> <p>水球…全国大会上位入賞、全国総体、国体、全日本ジュニア選手権へ出場</p> <p>レスリング…全国大会入賞5名以上、全国総体、国体、全国選抜へ出場</p> <p>山岳…全国大会上位入賞、全国選抜、国体等へ出場</p> <p>バレー男子…全国大会入賞、全国総体、全国選手権等へ出場</p> <p>ソフトボール男子…全国総体、全国選抜等へ出場</p> <p>野球…甲子園、選抜大会へ出場</p> <p>競技力に優れた県外中学生入学者数 1学年10名</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症対策のため、学校の教育活動全体が縮小や中止となる中で、今年度実施できた事業があったため、生徒にとっては一つ一つが貴重な体験活動となり、知識や技術を身に付けたり、体育コースの生徒としての自覚を持ったりすることにつながった。</p> <p>&lt;数値結果&gt;</p> <p>陸上…全国大会8名出場。男子4×100mR 準決勝進出、女子4×100mR 準決勝進出。</p> <p>水球…全国高校総体水球競技3位入賞。国民体育大会中国ブロック大会水球競技少年男子2位（三重国体出場権を獲得したが開催中止）、女子2位。</p> <p>レスリング…〈男子〉全国選抜大会 団体5名出場。全国高校総合体育大会 個人55kg級男子3位、92kg級男子5位、団体10人出場</p> <p>山岳…スピードジャパンカップ 女子スピード4位、スピードユース日本選手権大会女子ユースA2位及び6位。全国高校スポーツクライミング選手権大会男子リード決勝進出</p> <p>バレー男子…全日本バレーボール高校選手権大会出場</p> <p>ソフトボール男子…全国高校総合体育大会出場、全国選抜大会出場。</p> <p>競技力に優れた県外中学生入学者数 令和4年度10名入学</p>

### 3 実施事業

#### 【高等学校課事業】

- ・外部人材活用事業（社会人講師活用事業）

ア トレーナーマスター「スポーツと栄養」

実施期間（全4回）

講師 岡 祐子（清水病院管理栄養士）

対 象 1年体育コース 生徒23名

イ トレーナーマスター「スポーツとマッサージ」

講師 秋月亨太（カイロプラクティックSUN鳥取倉吉店）

対 象 12年体育コース 生徒17名

#### 【独自事業】

##### 1 ウェイトトレーニング講習

年間5回を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

##### 2 トップアスリート講演会

年2回計画

（新型コロナウイルス感染症対策のため中止）

##### 3 トップアスリート養成事業

実施期間 10月（2泊3日の予定を変更し、日帰りで実施）

場所 環太平洋大学（宿泊なし）

対象 1年体育コース生徒23名

##### 4 指導者研修（コーチングを学ぶ）

（新型コロナウイルス感染症対策のため中止）

##### 5 メンタルトレーニング講演会

実施期間（全3回）

対象 1～2年体育コース

（新型コロナウイルス感染症対策のため中止）

##### 6 県外における本校PR

実施期間 10月～11月

派 遣 4名（バレーボール、水球、レスリング、野球）

訪問先 兵庫県6中学校、広島県1中学校、大阪府1中学校

#### 【その他事業】

- ・コロナ対策のため予定どおりの事業実施とはいかない中、体育コースの取組充実のためどのようにしたら実施可能なかを模索し、計画を立てた。

ゴルフ実習：1つのゴルフ場使用→2つのゴルフ場使用

スキー実習：2泊3日→3日間通い

大運動会：お台場グラウンド→学校グラウンド、時間短縮、無観客

#### 4 総合所見（成果・評価）

- ・新型コロナウイルス感染症対策を優先し、制限のある活動を継続しているところであるが、コロナ禍でも実施可能な事業を実施し、その中で好成績を収めることができた。今後も事業を継続実施していくことで、生徒の競技力の向上と教員の指導力の向上に繋がることを期待している。
- ・主な事業は体育コースの生徒を中心に実施しているが、体育コースの生徒から刺激を受けて部活動で切磋琢磨する雰囲気ができた。
- ・新型コロナウイルス感染症対策により、事業が計画通りの実施とならなかったが、体育コースの実習計画を工夫して実施することで体力の向上及び健康の保持増進並びに社会性・規範意識、生涯スポーツとしての健康意識の向上ができ、その後の学校生活で生かすことができた。
- ・「県外におけるPR活動」により、前年度より5名多い10名の競技力に優れた県外中学生を確保できた。一方で、新型コロナウイルス感染症対策で寮の定員を減らしたために、県外生徒の入学者数増加は困難な状況が続いている。

※枚数任意